

博士（学際情報学）の学位授与の取消しを受けて

このたび、学際情報学府が認定した博士（学際情報学）の学位請求論文に重大な不正が発見されたため、学位の授与が取り消されるという深刻かつまことに残念な事態が生じました。深くおわび申し上げます。

私たち学際情報学府は、学際的・横断的な教育研究組織として2000年の発足以来、さまざまな学問をつなぎ、また大学と社会をつなぐことを目標に、多様で質の高い修了生を送りだすべく、鋭意努力を重ねてまいりました。しかし今回、社会のみなさまからの信頼を損ね、最高の学知を修めた者のみに付与されるべき学位の授与過程に汚点を残してしまいました。慚愧の念に堪えません。

学位授与取消しの根拠は、文献情報を記載せずに他者の文章をそのまま引き写したり、文献情報を記載せずに他者の著作物に見られる用語や言い回しを多少変更して自分の文章であるかのように利用したり、他者の著作物に見られる独特の表現、用語の選び方や論証の順序などを参照元の文献情報を明示せずにそのまま借用したりといった部分が多数見られたことによります。

このような不正行為は、他者への敬意を欠き、論文を執筆して新たな知見を生産する作業の基本を守らない行為です。学際情報学府のみならず東京大学全体への信頼を損ね、ひいては学術の根底をゆるがすものと言わざるを得ません。

二度とこのような事態が生じないよう、再発防止策を教育全般と学位審査体制について定め、着実に実行に移しております。学生への倫理教育の強化徹底だけでなく、教員の自覚もさらに高めるべく、研修や啓発を充実させてまいります。

みなさまからの信頼を取り戻し、より充実した質の高い教育と研究を実現するよう、全力を尽くしてまいります所存です。

2017年11月30日

東京大学大学院学際情報学府長
佐倉 統